

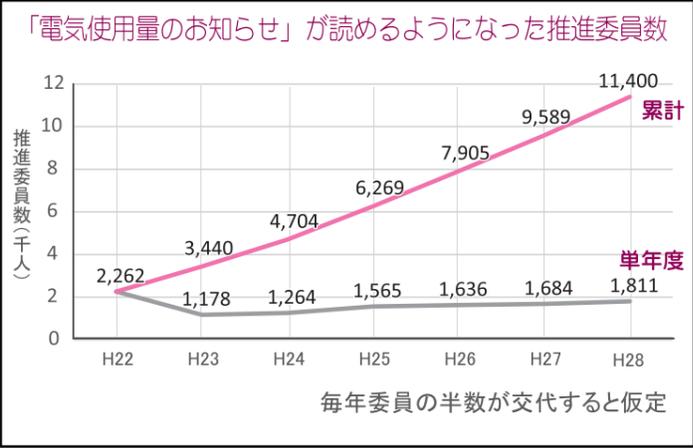
# 平成28年度重点事業振り返り

環境協では、公衛協活動の支援策として、環境づくり・健康づくり活動メニューの提案を行っています。平成28年度に展開した「全県共通事業重点メニュー」の成果を紹介します。

全県共通事業重点メニューは、支部・地区・学区公衛協で実践できるプログラムであり、積極的に地域の公衆衛生活動に取り入れていただきたい事業です。また、重点メニューには、環境・健康募金の環境協配分金の一部を充てて作成している活動支援グッズがあり、これらの活用を通じて募金事業への理解も促しています。

## ●「1万人の エコチェック事業」 お知らせが読める人が1 万人突破

県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、家庭で消費するエネルギーの削減運動を展開する事業で、平成22年度から継続していま



6年間で1万1,400人が電気使用量のお知らせを読めるように

内容は、8月の検針日に含まれる約1カ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、成果を数字で見えて、省エネの効果を体験・体感し、周囲の住民に広めて、「家庭の省エネ」を地域みんなで取り組む環境づくりを目指す。

この事業では、活動場所ごとの活動記録を蓄積し、広く住民に公表して、公衛協のPRに活かすこともねらいとしています。

平成30年度には推進委員の50%が参加することを目標としています。平成28年度は実践率40%となり、前年比で3.6%増加しました。2年に1度委員の改選があると仮定すると、これまでに1万1千400人が電気使用量のお知らせが読めるようになり、この人たちが核に、地域の省エネ活動が広まることを期待します。

## ●公衛協発・ ひろしま美化大作戦 県内で12万人が事業に 参加

次世代に住みよ環境を残すこと、継続して自然の恩恵を享受できる環境を維持することを目的に、地域清掃・美化、水質改善・保全、里地里山づくりの3テーマの取り組みを支援するもので、平成23年度から継続しています。

この事業では、活動場所ごとの活動記録を蓄積し、広く住民に公表して、公衛協のPRに活かすこともねらいとしています。

昨年度は、公衛協が関わる事業が、延べ267回展開され、12万1千422人が参加しました。支部・地区学区単位では、まだ報告されていない事業が展開されていると考えられますので、引き続き、公衛協の活動成果の見える化が課題です。今年度は、瀬戸内海の環境保全に関する広島県計画の実現に協力して、公衛協の地域美化活動の実績を行政と共有し、豊かな瀬戸内海を目指します。

## ●「1万人の 食エック事業」 記録方法変更で実践率 UP

健康維持のために、公衆衛生推進委員自らが食生活の傾向を知り、健康づくりにつなげることをねらいとする事業で、平成23年度から継続しています。

事業内容は、チェック期間を定め、食べた食品をカードに記載するもので、実践率50%をめざしています。

平成28年度は、これまでの食品数チェックから食事バランスを確認する方法に変更し、各自で食生活の傾向が把握できました(関連記事4面)。

実践率は36%で、前年度より3%増加しました。平成29年度は、バランス重視のチェックを継続し、国の第3次食育推進基本計画の目標である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合70%以上の達成を主な視点に取り組みを行います。」

## ●「公衛協発 ウォーキング事業」 4件の新規取り組みス タート

健康ひろしま21では、日常的な歩数の目標と

して男性9千200歩以上、女性8千300歩以上を掲げています。平成22年度から取り組み始めた公衛協発ウォーキング事業では、

「第6回坂町悠悠健康ウォーキング大会」が開催され、親子連れから健脚自慢まで、約1,000人が参加しました。コースは2km、5km、10kmの3種類で、ベビーカーでも参加可能なものから標高188.7mの山道を含む険しいものまであり、参加者はそれぞれのペースで各コースを楽しみながら歩きました。会場では特産のかき雑炊がふるまわれたほか、体力や血管年齢のチェック、栄養について学べるコーナーなど、健康に関する展示もありました。



「ごみを拾いながらウォーキング・福山市宣山区公衛協(上)、ウォーキングの途中で新たなスポーツ「クック」に挑戦 海田町公衛協(下)」

公衛協活動のテーマである「環境」と「健康」の視点を持ったウォーキング事業を展開することで、日常的な運動習慣につなげると同時に、公

衛協活動のテーマである「環境」と「健康」の視点を持ったウォーキング事業を展開することで、日常的な運動習慣につなげると同時に、公

市町地区・学区公衛協が事業を実施し、そのうち4件のはじめて実

践コースが取り組まれました。ただ歩くだけでなく、公衛協らしさをどのように発揮するかが引き続き課題となります。

健康維持のために、公衆衛生推進委員自らが食生活の傾向を知り、健康づくりにつなげることをねらいとする事業で、平成23年度から継続しています。

また、地球温暖化対策はつかいちさくら協議会では、脱温暖化に関するパネル展示とエコイズを実施し、子どもから大人まで多くの人でにぎわいました。

平成28年度は、27の市町地区・学区公衛協が事業を実施し、そのうち4件のはじめて実

践コースが取り組まれました。ただ歩くだけでなく、公衛協らしさをどのように発揮するかが引き続き課題となります。

平成29年度の重点メニューは、これら4つの事業に「がん検診へ行こうよ」キャンペーン事業」が新たに加わります。当協会HPから各事業の実施要領をご確認頂き、積極的に活用して地域の環境・健康の向上、公衛協活動の活性化に役立ててください。

### 【坂町】坂町悠悠健康ウォーキング

3月26日、安芸郡坂町において「第6回坂町悠悠健康ウォーキング大会」が開催され、親子連れから健脚自慢まで、約1,000人が参加しました。コースは2km、5km、10kmの3種類で、ベビーカーでも参加可能なものから標高188.7mの山道を含む険しいものまであり、参加者はそれぞれのペースで各コースを楽しみながら歩きました。会場では特産のかき雑炊がふるまわれたほか、体力や血管年齢のチェック、栄養について学べるコーナーなど、健康に関する展示もありました。

坂町公衛協では毎年、かき雑炊で使用された「P&Pリリパック(フィルムをはがしてリサイクルする容器)」の回収やごみ減量・分別の指導を行っており、今年も15人の推進委員が手馴れた様子で活動に汗を流しました。今春に任期を終える推進委員にとっては最後の活動となりましたが、みんな充実した表情で楽しそうな姿が印象的でした。



リサイクル容器の分別指導・坂町公衛協(左)

### 【廿日市市】はつかいち桜まつり

4月2日、廿日市市昭北グラウンドを会場に、第28回はつかいち桜まつりが開催され、午後から雨と重なったにもかかわらず、3万8千人の来場がありました。

廿日市市公衛協では、来場者にごん検診を呼びかけ、啓発用ティッシュ500個を配布したほか、牛乳パック10枚とトイレトペーパー1個を交換するコーナーを出展し、牛乳パックを持った来場者で長い列ができました。行列に並び家族からは「毎回交換に来ています」「無くなるから早く来ました」などの声が聞かれ、用意した2,300個余りのトイレトペーパー全てがなくなり、交換できなかった人々には次回の開催予定が案内されました。

また、地球温暖化対策はつかいちさくら協議会では、脱温暖化に関するパネル展示とエコイズを実施し、子どもから大人まで多くの人でにぎわいました。

平成28年度は、27の市町地区・学区公衛協が事業を実施し、そのうち4件のはじめて実



牛乳パックの交換に並ぶ行列・廿日市市公衛協(右)

## 春のイベントで推進委員が活躍 恒例の活動が人気に

(地域活動支援センター)

(地域活動支援センター)